

熊谷家住宅

家族の中の序列

この 19 世紀初めに建てられた家は、遠く離れた道路までずっと並ぶ長屋【の一部】で、かつて通りに直接面していた大きい住居 2 軒の内側を組み合わせて建てられたものです。土間と、囲炉裏のある板の間の境目が当初の 2 軒の住宅の境界線でした。

ペダル式の粳摺り機、味噌の材料を蒸すためのかまど、豆擦り器や味噌の発酵用の桶などの機器類や農具が多数展示されています。この家族は、農業以外の収入源として、養蚕業も営んでいました。